

第4回東北中学生空手道選抜大会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第4回東北中学生空手道選抜大会
- 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会
- 3 主管 青森県空手道連盟
- 4 後援 (公財) 全日本空手道連盟

5 場所 青森県武道館
〒036-8101 青森県弘前市大字豊田2丁目3
TEL 0172-26-2200 FAX 0172-26-2206

6 大会日程 令和4年10月23日(日) 9:00~16:30

8:00	開場
8:20	審判・監督会議
9:00	競技開始 女子形
	女子組手
12:00	昼食
12:40	競技開始 男子形
	男子組手
16:30	競技終了

- 7 種目 (1)形競技：男子、女子形個人戦
(2)組手競技：体重階級別による男子、女子組手個人戦
①男子：-52kg級、-57kg級、-63kg級、-70kg級、+70kg級
②女子：-47kg級、-54kg級、+54kg級
(3)同一選手が形と組手両種目に重複し出場しても良い。
(4)本大会は中学1年から3年までを参加対象とする。
- 8 競技規定 (1)競技は(公財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」と略記する)制定の《空手競技規定》により実施する他、全国中学校空手道連盟申し合わせ事項による。また、競技の実施と運行の詳細は当日審判長から通告する。
(2)形競技個人戦(登録された選手の変更は認めない)
(7)決勝までトーナメント方式とし勝敗は審判員5名の赤・青旗のフラック制で多数決により決定する。2名同時に対戦するが、決勝戦に限り1名ずつ演武して勝敗を決する。
(4)1・2回戦は第1指定形、3・4回戦は第2指定形とし、繰り返し演武できるものとする。5回戦以降は得意形とし、繰り返し演武できるものとする。
ただし、参加人数により第1、第2指定形の回戦変更もあり得る。
(3)組手競技
①各階級ごとトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
②競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更(短縮)せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。

- ③勝敗は競技時間内に6ポイント差、あるいは反則・棄権・失格又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技終了時に同点で「先取」がない場合は「判定」をとって勝敗を決する。
- ④安全具は全空連検定の拳サポーター(赤・青)、マウスシールドを着用したニューメンホー(VI、VII)、シンガード、インステップガード(色:白のみ)(全空連:ミズノ(株)、(株)東海堂、(株)ヒロタ、(株)守礼堂の各社製)、男子はファールカップを装着すること。
- ⑤所定の安全具の装着のない選手は失格となる。
- ⑥全選手のマウスピースの装着は任意とする。

(4) 服装

- ①選手は競技規定に則り清潔な白の空手衣を着用しなければならない。
- ②選手は金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
- ③選手は青帯・赤帯を各自用意し着用する。主催者側では準備しない。
- ④選手の胸マークは中学校名・県名又は無くても良い。袖の県名表示は原則として規制しない。流派、会派、各道場のマーク等は認めない。
- ⑤選手、監督は紳士的な態度で競技に臨むこと。選手の染髪、ピアス、過度の道着の変形等競技者としてふさわしくないと判断された場合、出場を認めない(取り消す)。

- 9 表彰 (1)優勝者、準優勝者、第3位(2名)まで副賞を添えて賞状を授与し、第5位入賞者には「優秀選手賞」を授与する。
(2)入賞者の表彰は、競技の終了した種目から順次行う。
(3)表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
(4)各種目入賞者上位4名を次年度の東北地区強化指定選手として認定する。但し、対象は中学1年生から2年生までとする。
- 10 審判員 (1)大会審判団は「全空連」公認審判をもって次により編成する。また、推薦審判員は65歳以下(定年制)とする。
(2)主管県を除く各県は、公認全国・地区組手審判員6名を選び、10月7日(金)まで大会事務局経由で大会委員長宛の文書をもって推薦する。
(3)主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。
(4)大会委員長は、各県から推薦され適当と認められた審判員をもって大会審判員を委嘱する。
- 11 安全対策 (1)選手は本大会1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
(2)参加選手は各自で、又は団体のスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。
(3)出場選手が競技中負傷した場合は、主催者側において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了承ください。
(4)選手及び監督は健康保険証を携行すること。
(5)選手の組手競技における過度な体重調整(減量・増量)が見受けられた場合は大会ドクターの判断により、大会出場を取り消す場合がある。
- 12 出場資格 (1)選手は全空連の会員登録者で公認段位及び公認級位取得者であること。
(2)監督は原則各団体1名とする。但し、参加者申込者数が10名以上の団体の場合は2名まで監督を置くことができる。
(3)監督は予め届け出があった者とする(20歳以上であること。19歳以下は認

めない)。

(4) 監督は腕に監督の腕章及び主催者が発行するIDカードを装着すること。

(5) 監督は空手衣を着用すること。監督は所属団体の選手及び一般入場者の管理をすること。

13 組合抽選 実行委員会において厳正に行う。

14 出場申込 (1) 出場費は1人1種目2,500円を納入しなければならない。

(2) 別途定める出場申込書を県連事務局に提出し、県連事務局が取りまとめ大会事務局に一括して申し込むこと。申込書の送付先及び出場費送金先(口座)は下記のとおり。(個人での申込みは受け付けません。)

県連盟の案内通り

- ◆ 出場費は必ず県連事務局から一括して振り込むこと。
- ◆ 参加申し込み後の返金は致しません。

15 申込期限 県連盟の案内通り

16 宿泊・弁当等 各自対応願います。

17 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 本大会は「(公財)全日本空手道連盟感染拡大ガイドライン」に沿って運用する。参加者はガイドラインを熟読し、感染者を発生させないように努めること。

(2) 感染症拡大の状況及び緊急事態宣言の発令によっては中止する場合もある。

(3) 当日、以下の状態に該当する場合は参加を見合わせてください。

- ① 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(4) 当日、以下の感染予防について会場内でアナウンスを行うが、参加者は事前に周知徹底のうえ参加すること。

- ① マスク(不織布)の着用(選手は試合時を除く)
- ② 手洗い、手指消毒の徹底
- ③ ソーシャルディスタンスの確保
- ④ 大きな声で会話をしないこと
- ⑤ 感染防止のために主催者が取り決めた措置の遵守、指示に従うこと
- ⑥ 握手、ハイタッチ、ハグなどは行わないこと

(5) 報告義務

本大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に対し速やかに報告すること。

(6) 感染防止のため、主催者が取り決めた措置に従うこと。また、大会会場で取り決められている事項のとおり行い、参加者は以下の書類を記載し提出すること。

① 入場者連絡先確認用紙

② 大会当日、受付時に検温を実施すること

③ 入場者にはIDカードを配布し、会場内ではIDカードを常に装着すること。IDカードのない方は館内に入れません。

④ 試合が終わった選手・**一般入場者**は速やかに退館してください。(入賞者は除く)

(7) **新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策として入場者の制限を行うかどうか検討中です。10月上旬に感染状況を踏まえて各県連に連絡いたします。**

18 その他

(1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。

(2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は参加できないので注意すること。

(3) 当日は大会会場の都合により練習会場が確保できないので事前に周知徹底してください。

(4) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。

(5) 大会日程については参加者数が確定次第、再度通達する。

(6) 本大会は令和4年度(公財)全日本空手道連盟強化選手選考会(カデット)東北地区選考会参加有資格者の選考も兼ねている。